

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	アスク向日保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成22年3月16日

総 評	<p>アスク向日保育園は平成19年4月に開設され、安全と安心を第一に、保育が実施されています。また「利用者のニーズにあった保育サービスの提供」という運営理念から、開設当初60名定員で発足されましたが、地域の保育ニーズに応えるため、現在110名定員で運営されています。</p> <p>今回2度目の第三者評価の受診においては、前回の評価結果を踏まえ管理者を中心に、職員全体で課題・反省点を共有し改善に向け努力されています。保育活動の特徴としては、外部講師によるリトミック活動・体操教室・英国人による英語教室やクッキング保育・菜園活動等が実施されています。</p> <p>開設より3年経過し、保育園がもつ機能を地域に還元し、地域に根ざした子育て支援の拠点として、発展・努力を続けられています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎内外共に安全管理・衛生管理が行き届き、子ども達が心地よく過ごすことのできる環境が整備され、自発的に活動できる工夫がなされています。 ・食生活の充実が図られ、アレルギー児に対して、保護者との面談を行い、医師の指示書のもと個別の献立表を作成し、きめ細やかな対応がなされています。 ・英国人の英語講師をとおして異文化に触れることができる機会を設けています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の内部研修は、本部による年間計画に従って実施されていますが、必要な外部研修にも積極的に参加されることが望まれます。 ・各種マニュアルが整備されていますが、今後、職員の参画のもとで見直し・改善をされることが望まれます。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	A

[自由記述欄]

- ・保育の理念・基本方針・保育目標が明文化され、職員会議・園内研修において職員に周知徹底しています。保護者等に対しては「入園のしおり」に掲載され、入園時に配布し説明をしています。
- ・保育課程が保育理念・基本方針・保育目標に基づき、地域性・各家庭の事情を把握した上で組織的に編成されています。保育課程と年間指導計画・短期指導計画・クラス指導計画個別指導計画との整合性を図り職員に周知しています。指導計画は定期的に見直し、子ども一人ひとりの発達過程や状況に応じた保育が実施されています。また、保護者参画による運営委員会が設置され、運営委員会において周知を図るとともに、意見・意向を聞き取り指導計画に反映しています。
- ・管理者自らの役割と責任を園内研修において明確に表明し、職員に周知しています。また、遵守すべき法令等をリスト化するとともに、遵守すべき法令等について、事例を交えた園内研修を実施しています。
- ・管理者は、常に保育サービスの向上に意欲を持ち、日々全ての書類に目を通し、保育現場に立ち会うなど指導力を発揮しています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

・行政と連絡を取り合い、社会情勢と経営環境を把握するよう努めています。また、必要な人材については、法人本部と連携を図り協議をして具体的なプランを確立しています。

・職員の就業状況や有給休暇・時間外労働等改善策を検討する仕組みが整っています。また、職員の悩み相談窓口が設置され、メンタルヘルスに配慮しています。

・職員の教育・研修に関する基本姿勢は明示されています。職員一人ひとりの研修計画に基づき園内研修を実施しています。また、研修レポートが提出され、内容に応じて職員会議において研修発表を行い、全職員が研修内容を共有していますが、園内研修のみに留まらず、必要に応じて外部研修にも積極的に参加されるとなおります。

・実習生受け入れマニュアルを整備し、職員に対し受け入れの意義・方針を明らかにしています。

・地域との交流を深めるため、地域のイベントへの参加や、特別養護老人ホーム・交番・駅・郵便局等との交流を図るとともに、地域の子育て支援として週一度の園庭開放や室内でのふれあい遊びを実施しています。

・ボランティア受け入れマニュアルが整備され、受け入れ体制が確立しています。

・病院・学校・児童相談所等関係機関をリスト化し、事務室に掲示するなど、職員間で情報の共有化を図っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-1(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-1(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-1(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-1(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-1(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-1(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

- ・個人情報に関する規定・マニュアルが整備され、職員会議において周知徹底しています。
- ・苦情解決の仕組みは明文化され、入園のしおりに記載するとともに、利用者の目に付きやすいよう玄関入り口に掲示し、意見箱を設置しています。
- ・利用者からの意見に対し、対応マニュアルを整備し、迅速に対応する取り組みをしています。
- ・前回に引き続き2回目の第三者評価受診であり、前回の評価結果を踏まえ、課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みが行われています。また、園長・主任が中心となって定期的に自己評価を行い、課題を明確にし、職員全員の共通理解のもとサービスの質の向上を図っています。
- ・記録管理について規程をさだめ、事務室内において管理し、事務室からの持ち出しを禁止しています。
- ・定期的かつ必要に応じ開催される職員会議・ケース会議において、利用者の状況に関する情報を職員間で共有し、個人ファイルを作成して、職員が閲覧できる仕組みを整備しています。
- ・園の概要は、ホームページを作成し、公開するとともに、随時施設見学を受け、案内・説明を行っています。また、保育の開始にあたり、入園説明時に重要事項説明書を配布し、その内容を説明して同意を得ています。
- ・転園・卒園にあたる保育の継続性については、必要最小限に止めています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる		A	A	
⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる		A	A	

【自由記述欄】

・健康管理はマニュアルが整備されており、マニュアルの手順に従って保育をしています。また、登園時の健康観察のポイントなどマニュアルに記載されており、それに基づいて受け入れ時に注意が払われています。

・健康診断や歯科健診の結果については、看護師が中心となり、必要に応じて保護者への伝達、指導をし、職員も情報を共有して保育に反映させています。

・感染症対応マニュアルは整備されており、発生したときは速やかに玄関掲示板に状況を掲示し、情報の共有を図っています。

・食事を楽しむことの工夫をしています。2歳児以上のクラスでは月1回クッキング保育を行い試食会やアンケート調査を実施して食生活の充実を図っています。

・アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、保護者との面談を行い、医師の指示書を基に個別の献立表を作成し、きめ細やかな対応をしています。

・各クラスには、段ボールや牛乳パックで手作りされたパーテーションやおもちゃ入れがあり、子ども達が落ち着ける空間づくりや自発的に活動出来るような工夫をしています。また、床を全てクッション材にするなど、乳児の安全に配慮した環境になっています。

・園内では畑を作り、野菜や花を育てたり、スズムシを育てるなど身近に自然と関わられるような工夫をしています。自然に触れるための散歩や園外保育も積極的に行い、集めてきた自然物を用いた制作も行っています。また、小学校や高齢者施設との交流を図ったり、公共交通機関を利用して園外保育も実施しています。

・障害児保育を積極的に行っています。また、英国人の英語講師をとおして異文化に触れることができる機会を設けています。

・性差に関しては、言葉によって異性への偏見を助長することのないよう言葉がけ対応マニュアルがあり、保育の中でも先入観を植え付けないよう配慮しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている		

[自由記述欄]

・個人面談を1期と3期の年2回行い、その内容は適切に記録し、保育に反映しています。なお、希望者には随時参観を受け付けるなど、保護者との共通理解を得るための工夫をしています。

・虐待対応のマニュアルは整備されており、毎日の健康観察をとおして子どもの様子を観察しています。また、マニュアルに基づく研修なども実施され、早期発見に努めています。疑わしい状況があるときの対応については、会議などをおして職員間での共通理解が図られています。

・子ども一人ひとりの発達記録は、個別指導計画に基づき担当が作成し、園長、主任が確認して個人ファイルに収納しています。また、必要に応じて他機関との連携も図っています。

・地域の小学生が授業の一環として保育園を訪問したり、今年度初めての卒園児を送り出すため、職員間での話し合いの機会を持ち、小学校との連携を図っています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A

[自由記述欄]

・衛生管理はマニュアルに基づいて実施され、担当者による定期的な会議も行われ、栄養士や看護師との連携を図って子どもの安全確保に努めています。

・感染症対応マニュアル等は整備されていますが、食中毒が発生したときの対応マニュアルの整備が必要でしょう。

・事故防止の為に安全チェックは、チェックリストを活用した点検が行われています。また、法人の担当者による安全チェックが月一度行われており、改善点があれば見直しをしています。今後、職員参画の基での検討会を行ったり、子ども達への定期的な安全教育を実施されると良いでしょう。

・事故や災害発生時のマニュアルは整備されており、避難経路や連絡方法がわかるよう掲示しています。

・不審者侵入時のマニュアルは整備されており、マニュアルに基づいての訓練も定期的に行われ、職員にも周知しています。